

# 管理組合ニュース

第32期第9号(通算第33号)

発行日:2013/12/16



## 2013年 冬の防災訓練報告

11月30日に志木市後援、志木ニュータウン町内会連合会主催の冬の防災訓練に呼応して、中央の森式番街自主防災会〔管理組合と町内会で編成した自主的な防災組織（管理組合ニュース第32期第3号、通算27号、2013/8/20発行を参照してください。）〕が行いました防災訓練は、予定した訓練を無事実施することができました。ご協力ありがとうございました。以下に概要と結果を報告致しますので、今後の防災訓練に引き続きご理解とご協力をお願い申し上げます。

(自主防災会事務局)  
管理組合防災専門委員会  
委員長 今村 卓

### 今回の防災訓練の特徴と重点訓練

今回の防災訓練の特徴は、中式自主防災会として実質的に初めて行う訓練であったことです。

自主防災会は、2009年に誕生以来、しばらく役員や担当者が不在の状態でしたが、理事会理事・監事・町内会役員各位に新組織の中核に名を連ねてもらい、実態を伴った組織にいたしました。更に、災害ボランティアと人材バンク登録者を加えた人数は100名を超える体制になりました。

そこで今回の訓練では、自主防災会委員とボランティア全員(人材バンク登録者を除く)が合同で協力し合って次の訓練を行いました。

①「ひと声かけて」登録者の安否確認を実際に声をかけて訓練。

②「安否表示プレート」を用いた全戸の安否確認。

③8街区町内会連合会の防災対策本部(第四小)と中式の本部(円形広場)との間におけるデジタルトランシーバーによる「通信・情報伝達」訓練。



### 防災訓練の結果

#### 安否確認訓練

「ひと声かけて」登録者の安否確認訓練と「安否表示プレート」の玄関ドアへの貼り出しの状況を全戸確認しました。

訓練時間は、両訓練を同時に進めながら行い、全て30分以内に完了

して円形広場の本部へ報告されました。「安否表示プレート」の貼り出しをされたご家庭は、296戸で全戸476戸の62%でした。初めての訓練としては、まずまずの表示率であったと思います。



安否表示プレート：災害時に無事であれば「**無事です!**」面を、救助を求める場合は「**支援求む!**」面を外に向けて、玄関ドアの外側に貼り出します。

### 通信・伝達訓練

デジタルトランシーバーを用いた「**通信・情報伝達**」訓練は、第四小に設置された連合会本部と他街区の通信までも中式の円形広場においてクリアーに聞き取れました。

アナログトランシーバーを用いた中式街区内の通信訓練も同時に行いましたが、過去に6・7号棟の柳瀬川側との交信では、雑音が大きく不安がありました。アンテナを出しておけば円形広場との交信には問題ないことが確認できました。

この通信訓練で得られた情報を逐一

円形広場に準備したホワイトボードに表示する情報伝達の訓練を初めて試み順調に行われました。



### 今回の防災訓練での反省と今後の課題

#### 安否確認訓練

「**安否表示プレート**」貼り出し率は62%でしたが、課題は率よりもプレートその物の活用方法です。

表示されたプレートが「**支援求む!**」の場合、確認者がその情報をどのように伝達して、自主防災会がどのような救援をするのかの訓練をしたことがありません。また、プレートの貼り出しが無い場合は、空室、不在、貼り出し忘れ、プレートを貼り出せない状況にあるのか…の判断が必要になりますが、今後の訓練では、安否プレートの表示・非表示別に対応を盛り込んだ訓練を企画することが大きな課題です。

今回は、訓練の案内が事前にされていた上でのプレート貼り出し訓練でしたが、いざという場合のプレートの貼り出しは、どの程度の災害でどのタイミングで行うのか、自主防災会委員が拡声器等を使ってプレー

トの貼り出しをみなさんをお願いするのか…検討すべきことが多くあることが分かりました。

6、7号棟の自主防災会メンバーとボランティアのみなさんで話し合って採用した独自の安否確認方法で、良かった点、見つかった課題などを教えて頂き、他号棟での適用を検討頂くことも必要です。

来年3月の訓練に反映できるように、自主防災会委員と全棟ボランティアによる話し合いの機会を設ける予定です。その際は、今回の訓練に参加された皆様に、ご出席いただけますようお願いいたします。

#### 通信・情報収集・伝達訓練

四小の本部との通信で得た情報をホワイトボードに貼り出す訓練は、災害発生時に皆様に情報を伝える良い手段になると確信しました。今後の訓練でも実施して行きたいと思えます。以上